

国際コーチング連盟日本支部 (ICF ジャパン)

運営委員募集要項

2023 年版

2023 年 3 月 13 日



一般社団法人国際コーチング連盟日本支部

目次

1. 運営委員の目的
2. 運営委員のミッションステートメント
3. 役割を遂行するために運営委員に求められる資質
4. 運営業務を行うために運営委員に必要なスキル
5. ボランティアスタッフ行動指針
6. 運営委員としての資格要件・欠落事項
7. 運営委員の公表と機密保持
8. 任命・活動期間
9. 具体的な活動
10. 運営委員としての活動の御礼
11. 応募・選考方法とスケジュール

(別紙 1)

運営委員の倫理規定・機密原則

(別紙 2)

1. 組織・運営体制
2. 会議体の概要
3. チーム編成・個別運営会について

1. 運営委員の目的

運営委員は国際コーチング連盟日本支部のミッションとビジョン、プランに基づき、目的を達成するための活動を自ら支えます。その活動の中には補助としてサポートして下さる人のケアも含まれます。より多くの人や組織を巻き込み、国際コーチング連盟の理念が浸透し、コーチングが人類の発展繁栄に寄与するための活動を行います。

2. 運営委員のミッションステートメント

運営委員は、以下のミッションステートメントを遵守することが求められます。

私たちは、国際コーチング連盟が定める核となる能力水準(コア・コンピテンシー)及び国際コーチング連盟によるプロコーチの倫理規定に沿った規範に基づき、判断と行動を致します。

*求められる行動指針につきましては、「ボランティアスタッフ行動指針」をご参照ください。

3. 役割を遂行するために運営委員に求められる資質

運営委員は、その役割を遂行するために、以下の資質が求められます。

(1) 倫理性

- ① 個人的動機ではなく社会貢献動機にもとづいていること
- ② 機密保持などの基本的な倫理を守ること
- ③ 特定組織の利益を優先しないこと

(2) 対人態度

- ① 他者に対する肯定的態度
- ② 建設的に良い物をつくっていきこうとする学習的態度
- ③ 他者に学習意欲を促す態度
- ④ 自己の意見に固執しない態度
- ⑤ 自由で真摯な場を形成する態度

4. 運営業務を行うために運営委員に必要なスキル

(1) 専門能力

- ① コーチングについての基礎知識
- ② コーチングの進め方についてのプロセス認識
- ③ ICFのコア・コンピテンシー、倫理規定、ICFのミッションについての理解
- ④ 様々なコーチング手法への関心と理解、好奇心
- ⑤ ICFの資格認定、団体認定の最新プロセスに関する知識

(2) 対話能力

- ① 仮説や見解の明確な表現
- ② 他者の仮説や視点についての傾聴力とその態度
- ③ 仮説や見解の交換、融合、転換についての柔軟性
- ④ 意図や背景を理解、明確化するための質問、インタビュー能力

(3) 論理構成力

- ① 仮説や見解、意図の簡潔で平易な表現

- ② 全体と部分との論理的整合
- ③ 全体最適を考えた思考プロセスの整理と再構築

5. ボランティアスタッフ行動指針

(1) 感謝の心

ICF ジャパンは金銭的、物質的な報酬を一切受け取らない善意のボランティアにより運営されています。運営に携わる全てのボランティアスタッフは日常の仕事や生活の中から大切な時間を捻出し活動に参加しています。お互いの貢献に敬意を表し、感謝の気持ちで接しましょう。

また、この ICF ジャパンの活動資金は、会員からの会費及び、善意の寄付により成り立っていることを理解し、感謝の気持ちを持って大切に活用しましょう。

(2) 公益性の追求

ICF ジャパン単体でのメリットや利益を考えた活動ではなく、業界全体が広くメリットを感じることが出来る活動を優先して行い、参加していただける方を一人でも増やす努力をします。

また働くボランティアスタッフの中で業務量が増え、一人でこなせなくなったときは早めにそのことを周知し、支援を求め、全員参加型の団体運営をしましょう。

(3) 多様性の容認

ICF ジャパンは出身コーチングスクール、出身国、専門分野などを問わず、広くコーチとコーチングに興味のある個人、団体を受け入れる団体でありたいと願っています。ボランティアスタッフはそれぞれの出身スクールや専門分野において利己的に活動することを慎み、全員のことを考えた活動を行い、業界全体の発展のために活動します。

(4) コーチとしてのコミュニケーション

ICF ジャパンのボランティアスタッフは、ICF コア・コンピテンシーと倫理規定を守り、コーチであることを意識した会話を行いましょう。ICF ジャパンのボランティアスタッフは笑顔と笑いに溢れる、前向きな気持ちでのオープンなコミュニケーションをし、人を傷つける言葉、行動を控え、思いやりを持った会話をしましょう。ボランティアスタッフ同士の笑顔と笑いに溢れるコミュニケーションは、スタッフ同士の士気を高め続けるだけではなく、会員に対しても ICF ジャパンの風土の魅力強く印象づけ、参加意識や帰属意識を高めます。

(5) 公平性

ICF ジャパンの運営に関わる全てのボランティアスタッフは、尊敬を持って友情に結ばれた公平で居心地の良いメンバーシップを維持することに務めましょう。それは、一人一人が自由に発言できる場を創り、新しいアイデア、新しい意見、新しい発見を尊重し、場に対するそれぞれの貢献によって成り立ちます。

(6) 新しいチャレンジ

新しいアイデアで業界を活性化させることに真剣に関わり、これまでの日本のコーチングの習慣にも囚われることなく、前例のない活動をも勇気を持って推進します。また、ボランティアスタッフの新しい提案をお互いに祝福し、応援し、協力し合うことを誓います。

6. 運営委員としての資格要件・欠落事項

運営委員は、責任と役割に応じて以下のすべての要件を満たす必要があります。

<運営委員>

1. 国際コーチング連盟 (ICF) 本部会員である
2. 国際コーチング連盟日本支部正会員である (ICF 本部会員、且つ所属支部として日本支部を選択している)
3. ICF ジャパンのミーティング参加や活動を優先で確保できる
 - 委員の参加は以下の確認の上で委員長が判断する
 - ・ 定期的に参加 (週1回程度) する個別運営会への参加
 - ・ 月最低 10 時間の業務量へのコミットメント
 - ・ やりたいことの意志表明と実行へのコミットメント
 - 退任の要件は以下を確認の上で委員長が判断する
 - ・ 協調性がない場合
 - ・ 会議・イベントへの参加や貢献が著しく少ない場合
4. 運営委員に求められる資質、必要なスキルを満たしていると判断される
5. ボランティアスタッフに求められる行動指針を理解し、遵守することを承認している
6. 運営委員の倫理規定・機密原則 (別紙1) に同意している
7. Eメール、Slack でのコミュニケーションを充分に取れるとともに、電子データの取り扱いに関するリテラシーを充分に有している

7. 運営委員の公表と機密保持

運営委員の氏名は、運営委員任命後に運営委員であることを ICF ジャパンのホームページ上で公開します。なお、運営委員としての活動で得た情報で他組織への指導・コーチング・コンサルタント業務を行うことは禁止します。運営委員としての肩書の使用は、ICF ジャパンの活動に限定します。(詳細は、別紙 1 をご覧ください。)

8. 任命・活動期間

運営委員としての任命・活動期間は 2023 年 5 月 1 日～2024 年 2 月末日までとします。

9. 具体的な活動

(別紙 2) に記載されている、関連する会議への参加、及び、何れかのチーム・個別運営会に所属し、委員長の管轄の下、運営活動を行います。所属するチーム・個別運営会は、各自の要望を踏まえます。

10. 運営委員としての活動の御礼

ICF ジャパンの運営委員の活動は、業界の発展を支えるためのボランティア活動であり、会員はその活動のための資金を会費として納入しています。運営委員の活動は高い能力とともに、人格面での高い倫理性と、個人的利益よりも使命遂行を優先するというボランティア精神の上に成り立っています。従って、その活動自体への御礼はありません。ただし、活動に必要な特別な支出につきましては、担当理事の承認の上で実費をお支払いいたします。

11. 応募・選考方法とスケジュール

(1) 応募・選考方法

運営委員の応募は 2023 年 3 月 31 日までに、応募フォームよりエントリーをお願いします。

<https://forms.gle/VrBrB68zbpIPTYL6>

4月に選考面談を進めさせていただきます。選考結果は、理事会承認の上、メールにて通知いたします。

(2) スケジュール予定(2023年)

運営委員の応募期限 2023年3月31日(金)まで

運営委員選考面談 2023年4月中

運営委員合否発表 2023年4月中

倫理規定・機密保持 遵守誓約書記入 2023年4月中

運営委員キックオフイベント 2023年5月見込み

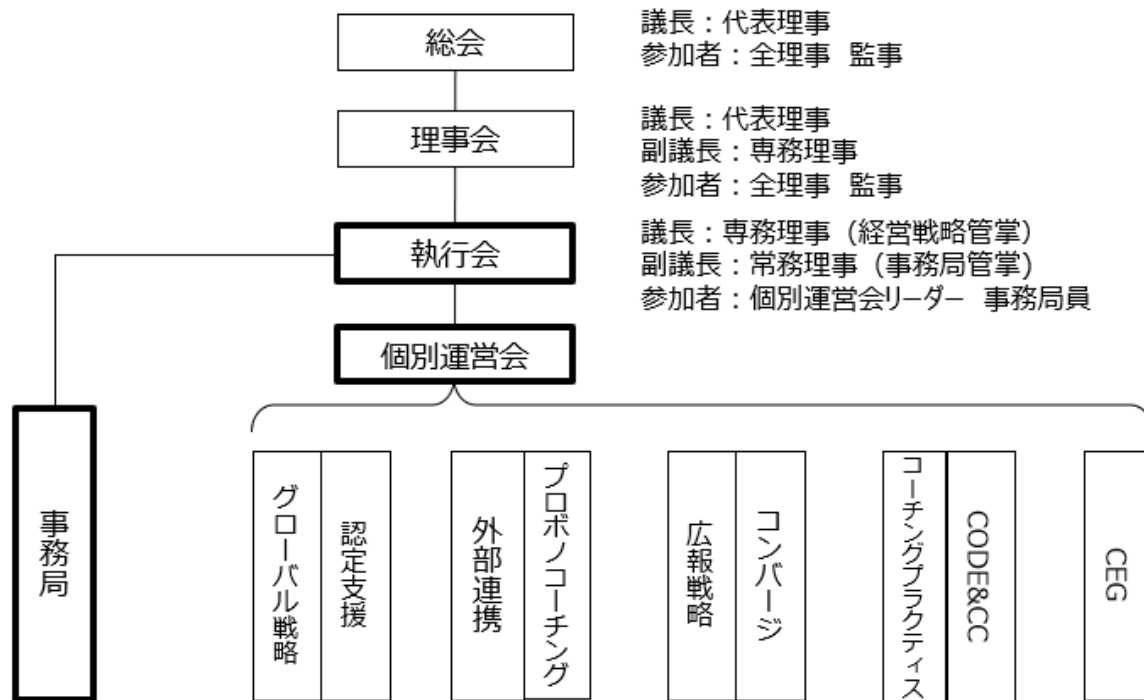
(別紙 1) 運営委員の倫理規定・機密原則

ICF ジャパンの運営委員として以下原則に従うものとし、反した場合は直ちに ICF ジャパンの運営委員任命を返上、理事会の指示に従います。

- 1) ICF ジャパンの運営委員は、その活動を通じて得た機密情報をもとに、個人的なフィードバックを行うこと、知り合った組織のコーチングやコンサルティング、研修について契約を締結することについて、ICF ジャパンの運営委員として任命された期間中および退任後2年間、これらを一切行いません。
- 2) ICF ジャパンの運営委員は活動を通じて得た機密情報の提供と引き換えに、関心を持つ組織のコーチングやコンサルティング、研修を実施することは一切致しません。
- 3) ICF ジャパンの運営委員は国際コーチング連盟日本支部のロゴ、および事務局から提供される名刺を、ICF ジャパンの運営委員としての活動以外の目的（講演、コーチング、コンサルティング、研修、指導などの営業促進としての使用することも含む）で使用しません。
- 4) ICF ジャパンの運営委員は、その活動の中で得た個人情報や機密情報を、理事あるいは ICF ジャパンの運営委員メンバー以外の他人に漏らすことは一切いたしません。
- 5) ICF ジャパンの運営委員としての活動終了後速やかに、運営活動を通じて得た書類や情報を事務局に返却（電子情報であれば消去）します。
- 6) ICF ジャパンの運営委員として活動の中で得た個人情報や機密情報を、ブログやフェイスブックなどのソーシャルメディアに一切掲載しません。
- 7) ICF ジャパンの運営委員としての活動に必要な機密データの扱いにあたっては、あらかじめ設定された専用のツール（Slack、Dropboxなど）理事会の指示に従うこととし、電子メール使用の際は情報セキュリティーに配慮するものとします。

(別紙 2) 2023 年度 国際コーチング連盟日本支部

1. 組織・運営体制



2. 会議体の概要

会議体名	開催頻度	議長	副議長	参加者	テーマ
総会	年1回 9月末	代表理事	-	監事 運営委員	年間の事業報告と次年度の事業計画の承認を行う。
理事会	年4回（3・6・9・12月） 第一月曜日 11時～12時	代表理事	専務理事	理事	経営や組織運営に関する戦略的な意思決定を行う。
執行会	週1回 月曜日 12時～13時	専務理事	常務理事	事務局 （個別委員長）	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な組織運営に関する業務、事務業務に関する意思決定を行う。 個別事業に関する経営視点での意思決定を行う。
拡大執行会	月1回 第一月曜日 19時～20時半	専務理事	常務理事	事務局 全委員長	月1回の頻度で、経営戦略や個別事業に関する進捗を個別運営に関わる全委員長が情報共有する。
個別運営会	週1回程度（開催日時は個別 運営会毎に設定）	個別運営 委員長	-	個別運営委員 （PTA理事）	個別事業の運営に関する検討、意思決定を行う。
全体会議	年2回 10月 4月	代表理事	副代表	全理事 監事 全運営委員	全メンバーが集まり、経営、事業に関する情報共有とコミュニケーションを行う。

3. チーム編成・個別運営会について(2023年3月1日時点のチーム編成)

チーム編成	個別運営会
グローバルチーム	グローバル戦略
	認定支援
外部連携チーム	外部連携
	プロボノコーチング
広報チーム	コンバージ
	広報
会員価値チーム	コーチングプラクティス
	CODE&CC
	Coaching in English

<個別運営会の概要>

- ・ 個別事業の運営に関する検討、意思決定を行う
- ・ 4月から約1年間の任期で、週一回程度の実施とする
- ・ 個別運営会毎に立候補により委員長を選出し、理事会にて承認
- ・ 理事はPTAとしてサポータータイプに関わる
- ・ 委員長は毎月1回の拡大執行会に参加。参加できない場合は代理を立てることが出来る